



【 2学期開始にあたってコロナ対策の引き締め 】

- 本日、2学期が始まり、子供たちの元気な姿が学校に活気を戻しました。そして、本日の欠席は「0」でした。この規模での「0」は、素晴らしいことです。夏休み中の充実した生活ぶり、家族の方のご支援が、あったからこそです。
- さて、心配なのはコロナです。富山県がステージ3になり、デルタ株の影響もあって、富山県でも感染者が急増しました。子供の感染も増え、臨時休業の可能性も現実味を帯びてきつつあります。そこで、先週、本校でも、感染対策を改めて整理して用紙にまとめ、教職員で共通理解しました。とは言っても、特段変わった対策は多くありません。これまでやってきたことを再度確認し、徹底の強化が主です。
- 教室内の机の位置については、可能な教室は市松模様状に配置しています。横列をずらす、楕列をずらすなど、教室の人数によって異なりますが、少しでも飛沫感染を防ぐ方法です。また、手洗いで石けんを使う、30秒間を行うなどの指導をします。さらには、授業中の換気も常に2方向します。このように、できることを確実に行います。
- また、市教委からは、「体温感知カメラ」をいただきました。それは、児童玄関近くに置き、子供が通ったら体温が表示されます。37,5度以上なら、警告音が鳴ります。
- コロナで、教育活動が制限されることは十分あり得ますが、今は、感染防止に重きを置くときだと考えています。2学期も、「感染防止」と「学びの保障（教育活動の充実）」の両立に努めてまいります。



市松模様状の配置



体温感知カメラ